

作況 102、収穫量 741 万ト 来年 6 月在庫最大 270 万トに増大も

農水省は 13 日、9 月 25 日現在でみた令和 8 年産水稻の作付面積・予想収穫量を発表した。主食用作付面積は前年比 7000 ㍴減の 136 万㍴、実測調査による全国一律ふり目幅 1.70 ミリ予想単収 546 ㍴（1 ㍴減）を乗じた予想収穫量は 6 万 2000 ト（0.8%）減の 740 万 6000 トを見込んでいる。

生産者使用ふり目幅（都道府県別 1.80～1.90 ミリ基準＝生産者ふり上米）基準の作況単収指数（直近 5 中 3 平均単収対比）は前年と同じ 102。生産者ふり目幅の予想単収は 2 ㍴減の 524 ㍴だった。農水省では「田植期以降、総じて多照で推移していたものの、一部の地域において梅雨前線による長雨や日照不足等の影響がみられたため」としている。

農業地域別の作況単収指数は、▷北海道 100▷東北 100▷北陸 102▷関東・東山 100▷東海 100▷近畿 103▷中国 103▷四国 101▷九州 103▷沖縄 94――。農業地域別では近畿・中国・九州の 103、都道府県別では、鳥取・福岡 106、島根・山口・熊本 105 など西日本の豊作指数が際立つ。高知 93、沖縄 94 など指数 98 以下もあった。

8 年 6 月末民間在庫量 243 万トに 1.70 ミリ主食用予想収穫量を足した 8／9 年主食用米等供給量から、年間需要見込みと備蓄米買い戻し分（現時点で 21 万トのみ）を引いた 9 年 6 月末民間在庫量見通しは 252～270 万ト。需給均衡ラインとされる 180～200 万トを最大 90 万ト超過する在庫増大が懸念される。

**都道府県別 作況指数
(9月25日現在)**

北海道	100	滋賀	103
青森	102	京都	103
岩手	98	大阪	104
宮城	102	兵庫	102
秋田	100	奈良	100
山形	101	和歌山	102
福島	101	鳥取	106
茨城	100	島根	105
栃木	100	岡山	103
群馬	100	広島	97
埼玉	104	山口	105
千葉	98	徳島	103
東京	101	香川	101
神奈川	100	愛媛	104
新潟	101	高知	93
富山	103	福岡	106
石川	103	佐賀	102
福井	104	長崎	104
山梨	101	熊本	105
長野	100	大分	100
岐阜	100	宮崎	99
静岡	102	鹿児島	102
愛知	101	沖縄	94
三重	98	全国	102

また、農水省は今回の現在調査について「豪雨・地震等の災害や 9 月の長雨・日照不足の影響などで昨年より刈り取り調査が遅れている県があり、災害・長雨の詳細な影響については次回の公表に反映する」としている。

令和8／9年の需給見通し（玄米万t）

	9月25日現在
令和8年6月末民間在庫量	243
8年産主食用米等生産量	741
生産者ふり目幅以上	711
生産者ふり目幅未満のうち、 主食用米への供給見込量	30
8／9年主食用米等供給量	984
8／9年主食用米等需要量	693～711
政府備蓄米の買い戻し	21
令和9年6月末民間在庫量	252～270